

所属	人間社会学部・社会福祉学科	職名	教授	氏名	小田 美季
----	---------------	----	----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

日本とドイツ語圏（ドイツ、オーストリア）における障害者福祉を主な研究分野としている。

現在の障害者福祉は歴史の変遷の中で形成されてきたものであり、各国の障害者福祉はその国の文化や価値観、障害者観と深くかかわりをもつものである。さらに、その国の状況は国際的な影響も受けている。この前提に立ち、日本とドイツ語圏における障害者福祉の史的展開及び現状と課題について、歴史分析や国際比較の観点から検討している。特に、日本とドイツ語圏における障害児・者観、障害者の自立支援・地域生活支援、障害者雇用、当事者活動についての研究を進めている。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

〈著書〉

単著「ドイツの家族支援」（伊勢田堯/中村伸一編『精神科治療における家族支援』）
2010年7月、中山書店

単著「相談援助における権利擁護の概念と範囲」（相澤譲治・杉本敏夫編『相談援助の基盤と専門職』）第1版2009年4月・第2版2010年4月、久美

〈論文〉

単著「特例子会社の現状と課題に関する一考察」

福岡県立大学人間社会学部紀要 20（2）2012年1月、pp.29-43

②その他最近の業績

共同「福岡県の障害者雇用・就労の現状」2011年7月、日韓障害者就労支援研究交流会兼日本職業リハビリテーション学会学術交流会講演、広島大学

③過去の主要業績

単著「ドイツとオーストリアにおけるクラブハウス」

福岡県立大学人間社会学部紀要 15（1）2006年11月

単著「ドイツにおける精神障害者家族会と当事者会の現状と課題（2）」

福岡県立大学人間社会学部紀要 14（1）2005年12月

Miki Oda “Rehabilitationswesen in Japan-Die Lage behinderter Menschen in Japan und die Entwicklung der Rehabilitation” (Inaugural-Dissertation zur Erlangung des Doktorgrades der Heilpaedagogischen Fakultät der Universität zu Koeln; Gedruckt mit Unterstützung des Deutschen Akademischen Austauschdienstes) 1997

3. 外部研究資金

科学研究費基盤研究（c）「自助・相互支援・公助の観点からみた障害者雇用創出の方策に関する基礎的研究」、78万円（平成23年度分）、平成21～23年度

4. 受賞

なし

5. 所属学会

日本社会福祉学会
日本ソーシャルワーク学会
日本ドイツ学会

6. 担当授業科目

《学部》

相談援助の基盤と専門職Ⅰ・2単位・1年前期
精神保健福祉論Ⅰ・2単位・2年後期
精神保健福祉論Ⅱ・2単位・3年前期
相談援助演習B・2単位・3年通年
社会福祉学演習・2単位・3年後期～4年前期
精神保健福祉援助実習・8単位・4年通年
卒業論文・6単位・4年後期

《大学院》

障害者福祉研究・2単位・1・2年前期
障害者福祉演習・2単位・1・2年後期

7. 社会貢献活動

人に優しい町・田川をつくる会理事
福岡県覚せい剤・麻薬禍対策協議会委員

8. 学外講義・講演

なし

9. 附属研究所の活動等

なし